

施策評価シート (平成22年度の振り返り、総括)

作成日 平成23年 07月 08日

施策 No.	26	施策名	良好な環境づくりの推進
主管課名	環境課	電話番号	0285-83-8125
関係課名	建設課、都市計画課、区画整理課、生涯学習課		

施策の対象	・市内全域								
対象指標名	単位	16年度実績	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	26年度見込
市域面積	平方 km				111.76	167.21	167.21	167.21	167.21

施策の意図	良好な環境づくり(よりきれいなまちづくり)を行う。								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法(算定式など)	市民意向調査による ・良好な環境づくりについての成果を示す指標は、きれい(とてもきれい、どちらかと言えばきれい)な街と感じている市民の割合とした。 ・河川の水質、緑などの自然環境、地域の景観が、良い(非常に良い、まあ良い)と感じている市民の割合とした。								
成果指標名	単位	16年度実績	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	26年度 基本計画目標値
きれいな街と感じている	%				73.2	73.4	74.0	70.2	80.0
河川の水質がよい	%				60.4	57.9	64.7	59.4	75.0
緑などの自然環境がよい	%				88.7	87.7	92.6	86.2	
地域の景観がよい	%				84.5	79.8	85.9	77.6	

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・市民は、日常生活の中で快適な環境を自らつくりだす。 ・行政は、環境美化に対する意識の高揚を図るとともに、それを支援する。 								
-------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

22年度の
評価結果

1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）

- ・本市がきれいな街と感じている割合は、高い水準を維持している。
- ・市民一斉清掃・河川クリーン作戦・地域や団体が随時に行っているクリーン活動などの環境美化活動が市民に定着している。
- ・不法投棄などは、防止のため、監視活動を行っているが、なかなか減らない状況である。
- ・犬や猫の糞尿を放置している飼い主のマナー違反などの苦情が依然として減らない状況である。

2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括

- ・市民一斉清掃（125区、37t）、河川クリーン作戦（40団体、0.42t）、地域や団体が随時行っているクリーン活動（53団体・延べ96回、8t）などの環境美化活動を支援している。
- ・雑草苦情に対して、迅速に対応している。（54件）
- ・不法投棄防止のため、監視活動を行い、市民からの通報にも迅速に対応している。127件（前年は146件）
- ・環境美化団体、優良資源ステーションの表彰などを継続して行い、地域の美化活動を支援している。
- ・犬猫避妊手術の補助事業をPRしている。避妊手術実績（メス犬50頭、メス猫149匹）
- ・犬や猫のペットによる糞害等の苦情に対して、広報紙やお知らせ版等で、飼い主のマナー向上を啓発している。
（犬の苦情：15件）

3. 施策の課題認識と改革改善の方向

- ・犬、猫の地域ぐるみでのマナーアップ事業を支援する。
（特に、猫については登録や首輪をして繋ぐなどの法による規制がなく、動物愛護と生活環境保全上の兼ね合いが難しいが、
飼い主のマナー向上に期待するところである。）

22年度の
評価結果

補足事項